

県土強靱化対策特別委員会会議記録

県土強靱化対策特別委員長 近藤 和義

1 日 時

平成28年9月27日（火） 午前11時31分から
午前11時40分まで

2 場 所

第3委員会室

3 出席した委員の氏名

近藤和義、元吉俊博、吉富英三郎、古手川正治、毛利正徳、三浦正臣、尾島保彦、
久原和弘、堤栄三、森誠一

4 欠席した委員の氏名

玉田輝義

5 出席した委員外議員の氏名

な し

6 出席した執行部関係の職・氏名

な し

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

(1) 報告書（骨子）について協議した。

9 その他必要な事項

な し

10 担当書記

政策調査課調査広報班	主幹	内田潔
政策調査課政策法務班	主査	熊野彩
議事課委員会班	副主幹	大久保博子

県土強靱化対策特別委員会次第

日時：平成28年9月27日（火）

場所：第3委員会室

1 開 会

2 協議事項

(1) 報告書（骨子）について

3 その他

4 閉 会

会議の概要及び結果

近藤委員長 ただ今から委員会を開きます。

玉田委員が所用によりおこなっています。

県土強靱化対策特別委員会の設置期間は平成29年3月31日で終了します。大分県議会会議規則第75条に基づき、委員会は調査を終了する場合、報告書を作成し議長に提出するようになっています。

本委員会は平成28年第4回定例会で報告を行い、平成29年第1回定例会で措置状況の報告を執行部に求めるようにしております。

本日は報告書の骨子について協議します。報告書についてはこれから内容を検討し、できるだけ各委員の意見を踏まえ、つくりあげていきたいと考えています。

ついては、これまでの調査の概要、今後の日程等について事務局より説明をします。

〔事務局説明〕

近藤委員長 事務局からの説明が終わりました。

報告書は今まで委員から出された意見や質疑をもとに作成する予定ですが、骨子案に何か指摘等がありましたらどうぞ。

久原委員 報告書骨子案2枚目、1番下から2番目に、地域消防団員の活用と防災士の活用とか書いちょうやないか。先日、佐伯市蒲江の台風被害、大雨のために土砂災害が起こったところへ行ったんや。その時に、災害が小規模だったんでボランティアを募集せんで、市役所の職員が一生懸命土砂をどけるとるんや。ところが土砂の量が物すごく多かった。その時に、例えば津久見市とか臼杵市とか県南のそういう市役所同士が加勢し合って何人かずつ派遣し合うのは必要じゃないかと思った。市役所の職員が暑い中一生懸命に作業をしていたんや。普通の日だったため、消防署の職員が多かった。

小規模な災害で、ボランティアを集めない場合は、それにかわる連携というのはあったほうがいい。小規模な災害の時でも自治体間の連携はあったほうがいいんじゃないかな。

このことを骨子で考えてみて。

事務局 小規模な災害時の自治体間の連携で整理したいと思います。

近藤委員長 ほかにありますか。いいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

近藤委員長 ほかにありませんので、今出されましたご意見を踏まえ、骨子案作成を今後進めたいと思います。

ほかにご意見があれば、事務局から説明がありましたとおり、10月5日までに事務局に連絡をしてください。よろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

近藤委員長 今後出されます委員からのご意見等を踏まえながら作業を進めさせていただきます。細部につきましては、委員長にご一任を願います。

今後報告書の素案を作成し、10月下旬には委員の皆様へ送付を行い、ご検討いただきたいと考えています。

そこで、次回の委員会ですが、素案送付後の11月上旬あたりに1度お集まりをいただき、素案の検討を行いたいと考えておりますがいかがでしょうか、

〔「異議なし」と言う者あり〕

近藤委員長 それではそのように決定させていただきます。詳細は後日事務局より連絡をさせます。その他何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

近藤委員長 別にないようですので、これをもって本日の委員会を終わります。お疲れさまでした。